

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育てサポート・ふれ愛 大和西大寺北校 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和7年12月11日	～	令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50名	(回答者数) 45名
○従業者評価実施期間	令和7年12月11日	～	令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの相談や申入れがあれば迅速に対応できる体制があることを周知・説明し、またそのような時に迅速かつ適切に対応できていると評価していただいている。	<ul style="list-style-type: none"> 療育後の振り返りの時間に保護者のお困りごとや悩みをを把握すれば、改めて相談の場を設けることをご提案し、細やかに対応できるように心掛けている。 ご契約時に、わからないことやご相談があればお気軽にお声掛けいただくようお願いしている。 日頃から保護者とのコミュニケーションを心掛け、相談しやすい関係づくりを心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きご契約時には、相談体制があることをお伝えし、保護者のお困りごとに対して迅速に対応ができることを周知していきように努める。 日頃から相談事があればふれ愛のスタッフに相談したいと保護者に思っていたできるように、誠実な対応を心がけていく。
2	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明ができている。	<ul style="list-style-type: none"> ご契約時は重要事項説明書を中心に、利用者負担・加算関係・支援プログラムなど時間をかけて丁寧な説明を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きご契約時には、全ての事項について丁寧に説明をし、ご利用者様に十分に内容を理解していただけるように努めていく。 ご契約時に限らず、ご利用に際して事業所の対応についてご不明点が出た時には、改めてご説明できるように全職員が内容の理解を深めておく。
3	生活空間がお子様が見通しをもって安心して行動できるように、わかりやすく整えられている。	<ul style="list-style-type: none"> 室内の掲示物などは最小限に留め、集中しやすい環境づくりに努めている。 タイムスケジュールをイラストやことばで提示し、その日の活動の流れが視覚的にわかりやすくなる様に工夫をしている。 タイマーを使ったり、時計に目印をつけて活動の終了をわかりやすく示している。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様にとって見通しを持って過ごすことができることは大きな安心感につながるため、環境設定には工夫と配慮をし、行動しやすい空間づくりに努めていく。 注意を向ける先がわかりやすくなるように、室内掲示はできるだけシンプルにし、集中しやすい環境づくりに努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の活動プログラムが固定化にならないように工夫していることを周知し切れていない。	毎年カリキュラムを更新して固定化しないように考えているが、それらを保護者に説明する機会を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> 各クラスで何を目標にしてカリキュラムを設定しているのかを振り返り時に保護者に伝えることで、それぞれのプログラムに意味があることを伝えられるように対応をする。
2	こどもの安全を確保するための計画について周知の徹底が不十分と思われる。	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に安全計画について周知できるほど説明ができていなかった。 療育中は扉の鍵を閉め、外部からの侵入を防ぐことは徹底して行っているが、それについても保護者に敢えてご説明をしている訳ではなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約時だけでなく、年度替わりなどで事業所の安全計画についてご説明できる機会を設けていく。 事業所の中で安全のために行っている施設・機の収納方法・物品の配置などについても、周知できるように努めていく。
3	お子様が安心感を持って通所できているかについては「どちらともいえない」と回答されている方が少数だが確認された。	<ul style="list-style-type: none"> 行き渋りのあるお子様や不安感が強いお子様については保護者から見て「どちらともいえない」の判断になるのかと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様が不安がられても保護者には安心して送迎できるようにコミュニケーションを取り、来所時の対応を丁寧に行っていく。 見通しが立つことで安心して通えるようになるので、来週することを簡単にアナウンスしていく。